

実施状況報告

事業名	子どもの読書活動推進のための研修会(第1回)
実施主体名	愛媛県立図書館
日時	平成30年11月27日(火)13:30～15:30
場所	内子自治センター
参加者	子どもの読書活動に関心のある県民(39名)

「おはなし会をもっと楽しく—小道具を使って更に魅力あるおはなし会へ—」と題して、絵本専門士・JPIC(一般財団法人出版文化産業振興財団)読書アドバイザーの菅弥和乃氏による研修会を開催しました。

ケースからカードを出し入れするたびに、色が付いたり消えたりする「マジックスクリーン」を使ったおはなし会の例を実演していただいた後、参加者が実際にマジックスクリーンを制作しました。また、ハンカチを使って簡単に作れる小道具や、松ぼっくりなど子どもの興味を引く実物の例をご紹介いただき、動きや視線等も含めて小道具を効果的に使うためのアドバイスをいただきました。

参加者からは、教えていただいたことを活用して、子どもが自然に本の世界に引き込まれるようにはなし会を盛り上げていきたいという声が聞かれました。



実施状況報告

事業名	【展示】小説『坊っちゃん』の時代―漱石と松山―
実施主体名	愛媛県立図書館
日時	平成 30 年 9 月 1 日(土)～12 月 27 日(木)
場所	愛媛県立図書館 4 階えひめ資料室内壁面展示ケース
参加者	来館者

松山は、明治の文豪・夏目漱石の小説『坊っちゃん』の舞台です。漱石は、明治 28 年から 29 年にかけて約 1 年間、松山の中学校に英語教師として赴任していました。『坊っちゃん』は、その頃の体験をもとに明治 39 年に書かれた小説です。

えひめ資料室では、松山に縁の深い『坊っちゃん』の魅力を伝える展示を行いました。展示は「小説『坊っちゃん』誕生」と「松山時代の漱石」の 2 部構成とし、『坊っちゃん』誕生の背景や、当時 28 歳の青年だった漱石が松山でどのように過ごしていたかなどについて、年表やエピソードを交えて紹介しました。

展示資料には、漱石自筆の『坊っちゃん』原稿の複製や、漱石の教え子・桜井忠温が小説の名場面を描いた絵葉書、各種『坊っちゃん』の単行本など、全て図書館所蔵の資料を使用しました。

